

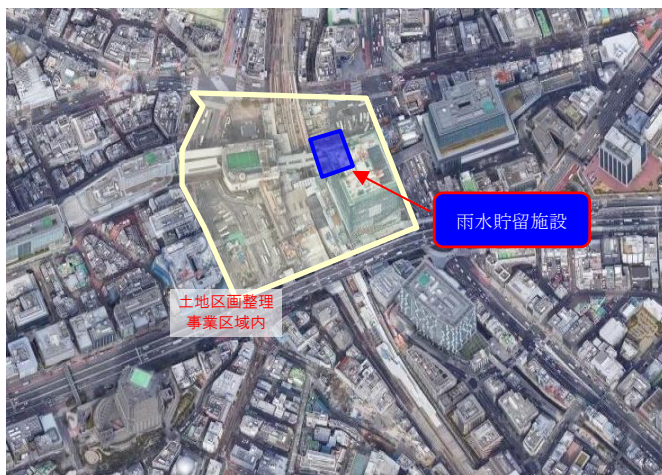
■現場概要

渋谷駅周辺は、すり鉢状の地形であるため降雨時の雨水が溜まりやすく、1999年には地下街への浸水被害も発生しています。近年多発している集中豪雨や局地的な大雨等への対応として浸水対策が急務とされていましたが、建物が密集し、地下埋設物が輻そうしていることから、大規模な浸水対策施設の整備が困難でした。

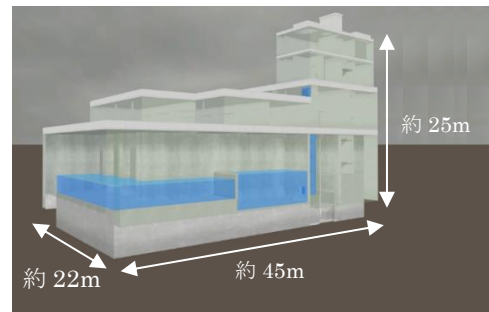
そこで、渋谷駅周辺で百年に一度の再編といわれる大規模再開発の機会を捉え、渋谷駅東口周辺について時間 75 ミリの降雨に対応した雨水貯留施設の整備を行いました。

渋谷駅街区土地区画整理事業共同施行者代表者である東急株式会社が貯留量約 4,000m³の雨水貯留施設等を整備し、並行して土地区画整理事業区域外では、貯留施設に雨水を取り込む取水管及びマンホールの整備を下水道局が行いました。台風シーズン前に施設の一部を暫定的に稼働させ貯留を開始し、防災機能の向上に貢献します。

なお、渋谷駅西口では、2006年に当局にて貯留量約 4,000m³の貯留施設を整備済です。



渋谷駅周辺



雨水貯留施設の外觀イメージ



雨水貯留施設の内部

■行程（予定）

日時：2020年8月19日（水）

<TV媒体対象> ※TV媒体は各回2媒体までご案内いたします。

【第1回】 9：15～10：10（受付開始 9：00～）

【第2回】 10：40～11：35（受付開始 10：25～）

【第3回】 12：05～13：00（受付開始 11：50～）

【第4回】 13：30～14：25（受付開始 13：15～）

<新聞・雑誌・WEB媒体対象>

【第5回】 15：15～16：00（受付開始 15：00～）

【第6回】 16：30～17：15（受付開始 16：15～）

※ご取材いただける時間帯をお選びください。

※定員に達した際には、取材時間の変更のお願いやご参加をお断りさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

TV媒体：計3名まで／新聞・雑誌・WEB媒体：計1名まで

<開催内容>

①供用開始日発表、②施設概要説明、③施設内撮影、④質疑応答、個別インタビューなど

■現場及び受付場所

渋谷駅東口工事現場ヤード内

（〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目24-12 渋谷スクランブルスクエア北側）

★印に広報腕章を付けた担当者がおりますので、お声掛けください。

